



まえはようちえんだより

6月号

令和3年 6月
小田原市立前羽幼稚園
園長 越川知香子

5月の中旬に続いた雨で、今年の梅雨入りは早い！と思っていましたが、何だか拍子抜けしてしまうほど、よい天気に恵まれ、お陰様で栽培物もよく育ち、毎日水やりをしながら生長と収穫を楽しみにしている姿が見られました。今週初めに梅雨入りとなりましたが、曇り空でも気温が高い日には、ミストやシャワーなどを活用しこの時期に楽しめる遊びを思う存分味わい、開放感を感じる中で、友達との関わりが深まっていくようにしていきたいと思えます。年少児は、友達の名前を覚え、呼び合いながら、一緒に遊ぶことの楽しさを感じているようで、一人一人がよく見える少人数のよさが、心の安定に繋がっていることを実感しています。また、年長児は飼育当番活動に意欲的な姿が見られ、友達と思いや考えを伝え合いながら、様々な生き物の不思議さや命の大切さを学んでいます。体調を崩しやすい時期ですので、栄養と休息など体調管理をよろしくお願いいたします。



<ジャガイモを収穫しました！>

5月下旬にげんき畑のジャガイモを収穫しました。地域の小野澤さんが耕運機をかけてくれたり、イノシシ除けの柵を作ってくれたりしたお陰で、土からザックザックと出てくるジャガイモに驚き、「こんなに採れた！」と両手いっぱいを持って喜ぶ様子も見られました。大中小と大きさ分けも楽しみ大きさの微妙な違いに「これはどっち？」と時間をかけて分ける姿もありました。大中小合わせて11個。自分で数を数えて持ち帰りました。翌日、「カレーにしよう！」「コロクにして食べた！」と家庭でどのようにして味わったのかをとっても嬉しそうに話す姿がありました。年長児の姿から、げんき畑に、昨年継続して通ったことで、徐々に歩く速度が早くなり脚力がついてきていることがわかります。園にとって学びの多い大切な場所です。



<サツマイモ苗植えをしました！>

げんき畑にジャガイモの次はサツマイモを植えます。小野澤さんが、苗植え前に肥料を入れ、啓二さんと足立さんと一緒にマルチを貼り準備をしてくれました。3本の指に挟んで苗を1本ずつそっと植えていきます。1人3つの苗を植えました。1回目より2回目、2回目より3回目と回数を重ねるごとに徐々に植え方に慣れていく姿がありました。水やりや観察に行くと、大切に育てていきたいと思えます。



<消防車お絵かき会>

火災予防の取り組みで消防車お絵かき会がありました。小学校プール横に駐車し、消防士さんから消防車の役割や機能を教えてもらいました。じっくりと話を聞いた後は、とても集中して消防車を描くことができました。話を聞いて分かったこと、子どもたちが興味関心をもったところが伸び伸びと絵に表れていました。また、火災報知器の設置についての話（家庭に設置されているか）を家庭に帰って聞いてくることもでき、保護者にも防災の意識をもってもらえるよい機会になったと思えます。



<大きなアオムシとの出会いと別れ>

4月からアオムシを育ててきた年長さん。興味関心が膨らみ、今度は「家のレモンの木に幼虫がいたよ！」と持って来てくれた子がいました。「これはアゲハチョウ？」今まで育ててきたアオムシとは大きさも模様も違うことに気付き、図鑑で調べ始めました。「これはアゲハチョウに間違いない！！」と大きめの飼育ケースに引越しをさせ食べ物や世話の仕方調べました。レモンの葉が1枚しかなかったので、翌日、葉を持って来てあげようと話していると、残念なことに、死んでしまいました。子どもたちは、「なぜ死んでしまったのか？」をみんなで話し合いました。命はかけがえのないもので、一度死んでしまったらもう戻ってこないことを学ぶ機会になりました。実体験を通して命を大切にする気持ち育てていきたいです。



<69回目のお誕生日おめでとう！>

16日は幼稚園の69回目の開園記念日でした。69年前ってどの位前なんだろう？という問いに疑問符がたくさんついてきた子どもたちでしたが、ゆっくりと令和・平成・昭和と元号を遡り、話をしたり、用務員の市川さんに当時の話をしてもらったりしていくと、その子なりにイメージを膨らませる様子がありました。また、69年前は今の場所ではなく、前羽小学校の中庭の一角にあったことにも、驚く様子がありました。写真を拡大し、子どもたちに見せるととても興味をもつ姿がありました。長い歴史の中で、多くの卒園児を送り出した幼稚園。たくさん地域の皆様に支えられて69年間歩んできたのかと思うと感慨深いです。これからも“心豊かでたくましい子どもの育成”のために前進していきたいと思えます。



合同引取訓練のご協力ありがとうございました。